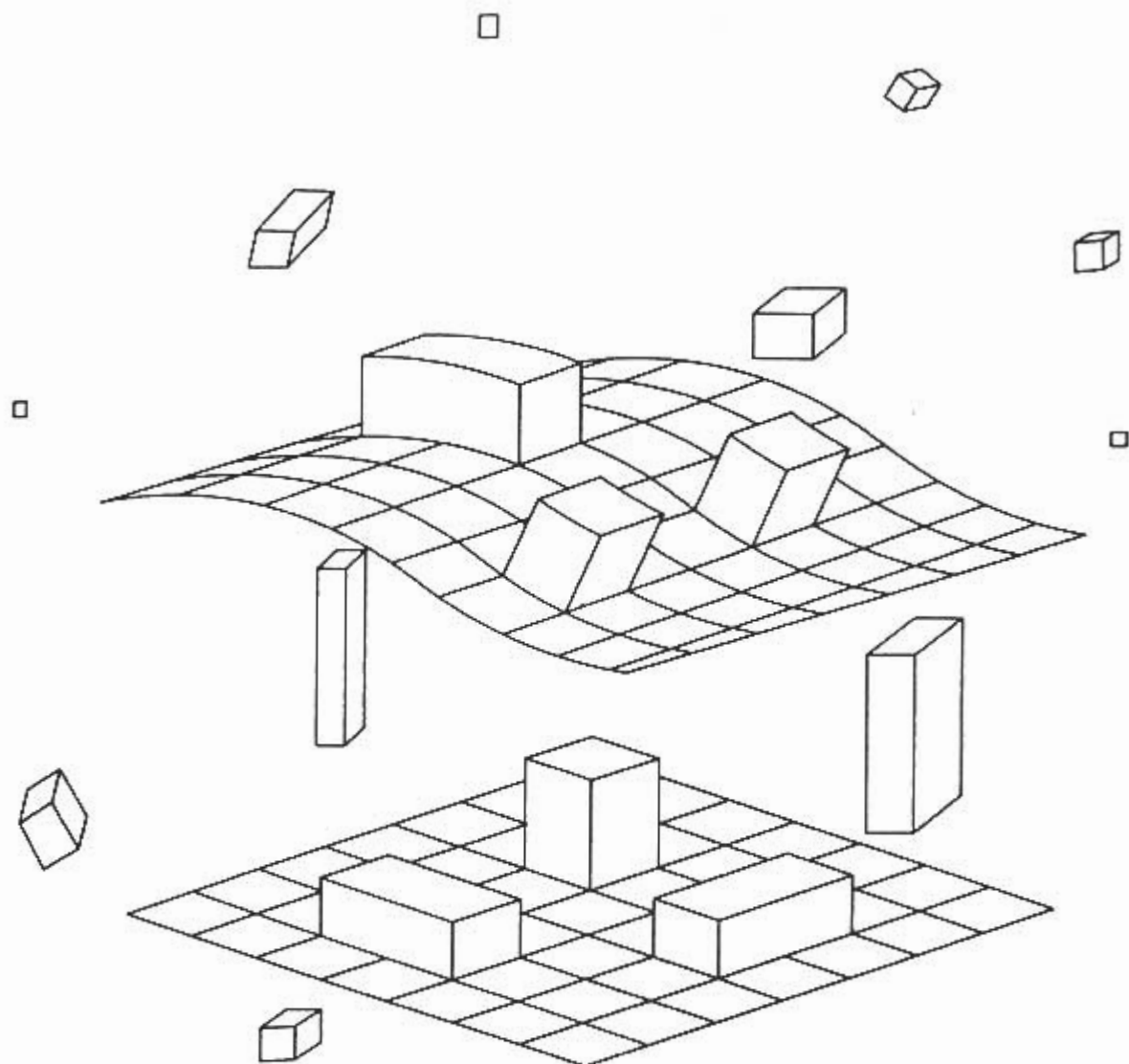


ITSUMIKAI



目次

会長あいさつ	1
先生あいさつ	2
トピックス	3-4
五三会建築設計競技会	5-8
広島工業大学建築・環境系職員名簿	9
五三会活動報告	10
五三会収支決算報告	11
五三会会則	12-13
編集後記	14

NO. **30**
平成15年度版

ごあいさつ

会長あいさつ



五三会会長
梶山孝之 (S49年卒)

昨今、右を向いても左を向いても不況の話ばかりですが、会員の皆様方におかれましては、いかにお過ごしでしょうか。

21世紀に入った途端に、今までに無い我々日本人の価値観や平和神話を根底から大きく揺さぶる程の大事件が起きました。一昨年のWTCテロ事件に端を発して、それに抗して米国を中心とするアフガン攻略。そして現在、世界中で議論されている対イラク問題や北朝鮮問題。その裏に潜むであろう米国資本主義の在り方と日本政府の追従的な対応への肯定性と批判性。

日本国内では、小泉内閣が提唱しながらも、今だに明確化されず効を奏しない「構造改革」。それにまつわる論争的論争。依然として出口の見えない日本経済の不安感・不況・失業・倒産、教育問題、環境問題…等々。数えても数え切れない程の根拠不明の複雑な事件や現象が起っています。

さて、広島工業大学で同じ建築・環境系のことを学び合い、卒業した者同士の連携の場・会・機関である同窓会として、「五三会(いづみかい)」が創設されて、今年で34年目に当たります。

これまでの間、諸先輩をはじめ多くの方々が無言と運営維持して来られた結果、今の「五三会」が存続しています。時代と共に少しずつ活動内容も変化してきた事と思いますが、現在行われている主な活動内容としまして、主に次のようなものが在ります。

- ・今やすっかりと県内の大学建築系学科等の間でも定着しました「五三会主催の設計競技(29回)」
- ・会誌「ITUMIKAI」の発刊(29回)
- ・地味では在りますが根気の要る「同窓会名簿」の整理・作成
- ・年に何度か開かれます同窓同士の「交流会」(新入生歓迎会・座談会・忘年会・そ

の他の懇親会)

- ・平成13年から取り組み始めました、インターネットによるホームページの開設と「建築見学会」
- ・その他：大学との連携、懸賞制度認定事業…等々。

会員の皆様は、建築系同窓会「五三会」に何を願い、期待されていますか。

ここ近年、これらの活動を中心になって執り行っているのは、毎年の事ながらごく一部の会員の方々です。しかも、諸幹事の方々はやや固定化し、やっとの思いで活動を維持している感があるのも否定できません。それだけに、これらの方々の御理解と御協力は計り知れないものがあります。まさに、ボランティアであり、自己投資であります。自分の足元から、まさに社会的実践をしておられる自己研鑽だどつくづく感じます。

知らない世界に関心を持ち、挑戦して自己展開や自己発見するのでもいいだろうし重要なことではあります。それと同時に、このような世の中だからこそ、知ったつもりの世界を、同窓会の実態を、今一度謙虚に受け留め素直に深く考え見つけ直すのも同じく大切で必要なことと思います。

「五三会」の今後の行く末は、私達同窓生の一人一人の姿勢と実践の如何に関わっています。今一度自分達の育った立脚点の一つでもある建築・環境系同窓会「五三会」に立ち返って、積極的な御参加をされることを節に御願したいと思います。

最後に、「五三会」の諸活動に対し御協力を頂きました各大学の先生方および学生の皆様、諸官庁の方々、会報誌のスポンサー協力をして下さいました各企業の皆様方には、心から御礼を申し上げます。

今後とも「五三会」の主旨を御理解いただき、御協力の程を宜しく御願致します。

五三会の皆様へ



環境デザイン学科
助教授 手越 義昭

昭和55年4月に母校広島工業大学へ赴任してから22年が経過しました。顧みますに歲月の流れるのは早いもので、まさに光陰矢の如しの感があります。

大学も私の卒業当時（1974年卒）と比べますと、随分と充実した研究設備内容となり、建築学科および建築系の卒業生は約7500名を数えるまでになりました。

五三会から会誌の原稿依頼を頂き、古い五三会誌を取り出して読んでいましたら、ある同窓生が1972年頃実施された北九州の新建築見学研修旅行の思い出を記した一説があり懐かしく思いました。当時丹羽先生と佐藤洋先生が交代で新建築と古建築の見学研修旅行をしておられたように記憶しております。私の年代の卒業生の多くは参加した思い出があることでしょう。この企画も無くなって久しかったのですが、2～3年前から古建築見学旅行が始まり、本年は香川県の直島への研修旅行が行われており、町並み見学、小学校、美術館などの公共建築の見学会に加えて直島プロジェクトに関する後援会、野外彫刻見学など、建築学科から環境デザイン学科の変化と同様に、企画内容も多彩になっておりました。

数年前は、同級生からは、今度、娘が、息子が入学したのでよろしくと言う言葉を聞いていたのですが、いつの間にか卒業・・・教え子達の活躍を知ることの方に重きを置く歳になったようです。

研究室のテーマは、コンピュータを取り入

れた建築設計の方法論が中心であり、建築計画に関するものと、構造計画に関するもので、中心となるテーマは設計支援論を軸とした建築に於ける情報システム技術であります。

これからも建築設計の観点からコンピュータとの関わり合いを探求し、これを通して建築の情報システム技術を普及してゆきたいと考えております。

最後になりましたが、今春社会へ巣立ち五三会の会員となられた皆様、ご卒業おめでとうございます。広島工業大学の建築系卒業生が、社会で信用され活躍されることを祈念しています。

トピックス ～1年間の活動報告～

五三会交流事業

平成14年度の五三会交流事業部会の活動としましては、在学生の皆様と五三会の皆様とのより一層の親睦を深める意味を込めまして、下記の通りの行事を開催しました。

1) 五三会交流会の開催

平成13年6月22日(土)に広島工業大学広島校舎にて行いました。一部はミーティング形式、二部は立食パーティーの二部構成で、OB12名、在学生20名のをいただきました。二部の立食パーティーあたりから盛り上がり、二次会、三次会と懇親会は続いたもようです。

2) 五三会忘年会の開催

平成13年12月7日(土)に例年どおりの場所(やぐら茶屋)で行いました。

今年は、学生部会が活動再開2年目を迎えられることで、たくさんの学生さんの参加をいただき、1期卒業生から若い皆さんまで大いに盛り上がりました。

参加者 OB 19人
在学生32人
(3年生/24人、4年生/8人)
合計 51人

五三会建築見学会

日 時：平成13年9月28日

場 所：広島市立矢野南小学校

設計者：富田玲子(象設計集団)

参加者：19名(内、学生9名)

コンペ入選

1月現在での在学生のコンペ受賞状況のお知らせです。今年度も、全国レベルのコンペに多数入選しております。

第37回セントラル硝子国際建築設計競技
優秀賞 “畑のレストラン”
大学院 環境学研究科 修士課程2年
横田健司 花本大作

第9回空間デザイン・コンペティション
提案部門
佳作 “祈りの空間に生きるガラス質”
大学院 環境学研究科 修士課程1年
久安邦明

2002年度支部共通事業日本建築学会設計競技
最優秀賞+島本源徳賞“外国人と暮らすまち”
大学院 環境学研究科 修士課程1年
安井裕之 久安邦明 横川貴史

第29回日新工業建築設計競技
佳作 “中庭のある都市の住まい”
環境デザイン学科4年 足立誠士

井崎校長先生に校内を約1時間に渡り、ご案内・説明していただきました。校舎の使われ方や、子供たちの行動の変化など、興味深いお話をお聞きすることができました。



矢野南小学校見学会の感想

広島工業大学 環境学部
環境デザイン学科3年 江川陽子

矢野南小学校は以前から知っており、いつか見学に行きたいと思っていました。偶然、五三会の見学会で行くことができ、とても嬉しかったです。ありがとうございました。小学校は団地の中にありました。思っていたよりも小さいというのが第一印象でした。しかし、小さい中にもぎゅっと詰まった工夫がされています。たとえば、体育館のステージ裏、コンクリートの壁とのわずかな隙間にウッドデッキが作られています。ここから、入学式に新1年生が入場してくるそうです。また、靴脱ぎ場を1箇所に集中させるのではなく、それぞれの学年が自分たちの教室に近い専用の靴脱ぎ場を持っています。そのほかにも中庭には泥んこ遊びができる水遊び場兼砂場があります。円形に囲むように作られた校舎の中心にあるので、子供たちが常に見渡せます。ところで、私が通っていた小学校は3階建ての長方形の校舎で典型的なハーモニカ型でした。今考えると何の面白みも無い造りをしていたと思います。ところが矢野南小学校を見学してみるとおもしろい点がいくつもありました。まず、教室のつくりが1年生から6年生まですべて違うのです。天井の色、机の配置、照明器具、開口の取り方などさまざまな違いがあります。とくに照明器具は天井に三角や丸の穴が開いている中に埋め込まれていたり、四角い箱が吊り下げてあったり、最上階はトップライトが使われていました。白い蛍光灯が何本かあるのとは違い、とても暖かく、わくわくするような空間が教室にありました。また、私がいいなと思ったのは、1年生の教室に2畳ほどの少し高い畳のスペースがあった点です。子供たちの中には休憩時間に外で遊ぶのが苦手な子もいるかもしれませんが。また、1年生には机や椅子よりも畳のほうが家庭的で落ち着くかもしれません。

もしくは、こんなすてきな教室にずっと居たい子もいるでしょう。そんな子供たちが椅子よりもくつろげる空間がそこにありました。学校には勉強を学びにいくだけではありません。友達と遊んだり、話したり、本を読んだり、植物を育てたり、昼食を食べたり、さまざまなことをやりに行くのです。矢野南小学校はこの校舎のおかげで、子供たちに無限の発想や行動力、可能性を与えてくれたと思います。

広島工業大学 環境学部
環境デザイン学科3年 後藤未知

矢野南小学校を見学して一番印象に残ったのは「色」です。小学校は周辺の住宅街から浮くことなく、昔からそこにあったかのように自然と風景に馴染んでいました。それは、建物が一般的なコンクリートの打ちっばなしではなく土色に塗装されているからだと思います。建物の外壁や屋根の色からは大地や上が連想させられ、植栽計画からは緑の豊かさを感じることが出来ます。さらに建具や内壁、手すり、タイルなどのカラフルな色使いからは子供心をくすぐるワクワクするような楽しさを感じることが出来ます。また、建物内部の壁や天井は大地から空への移り変わりを感じさせる淡い色が使われています。これは、教室が勉強するだけの場ではなくて、日常生活の延長上であるような温かさを感じることが出来ます。学校での集団生活に馴染めない子供にとって家庭を感じさせるような内装の色使いはとても重要だと思いました。このように、矢野南小学校は「色」から発見したり、感じさせられることが多いと強く思いました。そして色彩計画の重要性について考えさせられました。

平成14年度「五三会学生大賞」

植木康剛 環境デザイン学科4年 村上研究室

[Sport×Culture] - Promotion Place

- Relief of the boundary line by over of facade -

第29回五三会建築設計競技結果報告 29th ITUMIKAI COMPETITION

課題： 公・共の場 ～街・路～

メインテーマ「広島ふれあいの場を考える」の、4回目となりました本年度事業は、課題を「公・共の場～街・路～」と題し、建築家で広島工業大学などで非常勤講師として教鞭をとられるなど、様々な場面で活躍の宮森洋一郎先生に審査をお願いしましたところ、ご多忙にも関わらず快くお引受け下さりました。

昨年12月31日に応募締切を迎え、広島工業大学をはじめ、諸大学、高専から過去最多となる計66作品にも及ぶ力作が寄せられました。1月19日に広島市まちづくり市民交流プラザ内のギャラリーにおいて、応募された学生諸君や広島でご活躍中の建築家の先生方など70名以上が見守る中、公開審査会が執り行われました。また、宮森先生におかれましては応募作品一つ一つに講評を与えながら、非常に丁寧な審査をして頂きました。応募総数の多さもさることながら、どの応募作品も力作揃いで甲乙つけ難く、大変悩まれたご様子でした。審査結果は右の通りとなりました。

入選の皆さん、おめでとうございます。

残念ながら誌面の都合により、ここでは入選作品の紹介のみに留まらせて頂きますが、応募された作品はどれも、一生懸命に取り組まれた様子が感じられました。また、一組で複数の提案をされる方々がいらっしゃるなど、この設計競技或いは課題に対する学生の方々の姿勢を目の当りにし、大変嬉しく感じると共に心強く思いました。

審査会終了後は宮森先生をはじめ、日頃公共の場に関する仕事をされていらっしゃる広島市職員の方々、設計の実務に携わっているの方々をお招きし、応募された方々との座談会を行いました。

応募作品を基に公共の場の在り方について応募者である学生諸君と、現実実務として携わっておられるコメンテーターの方々の間で、熱のこもった論議が交わされたいへん有意義なものとなりました。

今後とも、この設計競技がより発展してい

きますよう、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い致します。

最後になりますが、宮森先生にはこの建築設計競技事業にご理解を頂き、ご多忙の中審査、講評そして座談会にと貴重なお時間を割いて頂きましたことお礼申し上げます。

また、本年度事業は準備の不手際により、例年とは著しく異なるスケジュールとなり、大晦日の消印締切にもかかわらず過去最多の応募をいただきましたこと、応募して下さった皆様にお礼申し上げます。

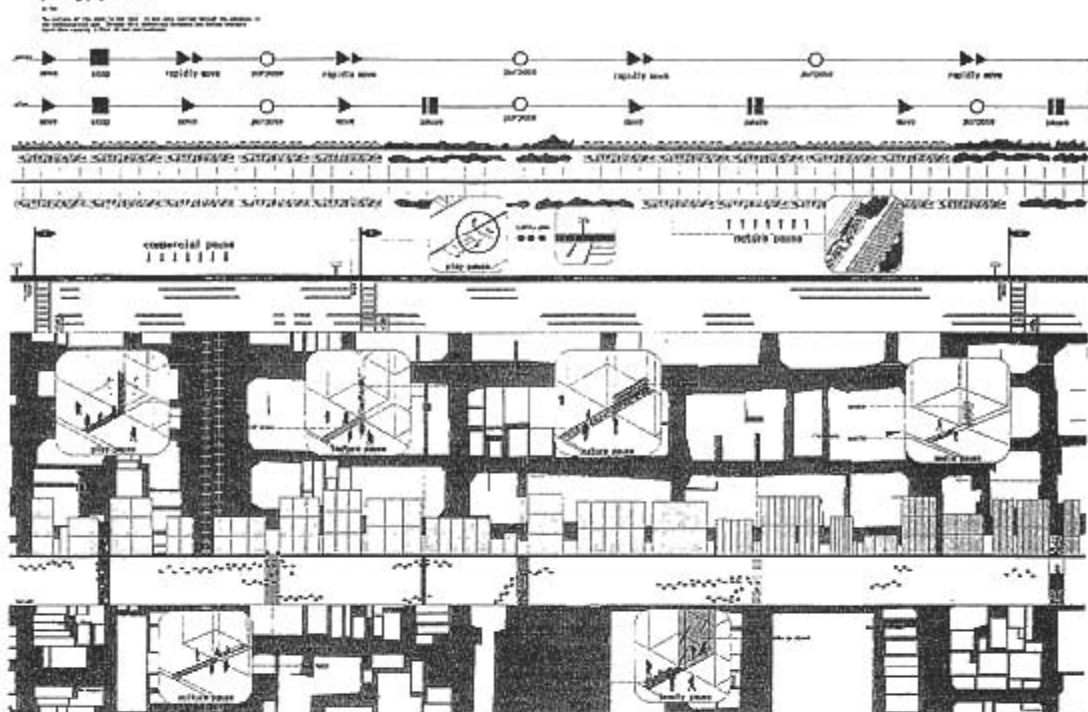
ご協力ありがとうございました。

以上にて、本年度建築設計競技事業の報告を終わります。

審査結果（敬称略）

一等賞	山野嘉彦 Kenny Boid 重政隆志 (近畿大学大学院工学技術研究科建築学専攻)
二等賞	岡本峻彦 倉重亜沙美 佐本 健 高嶋梨香 米司晴恵 (共工業高等専門学校建築学科富田研究室)
三等賞	内田芳広 (広島工業大学環境学部環境デザイン学科佐藤洋研究室)
三等賞	ストリートファイターズ!! 花本大作 横田健司 (広島工業大学大学院)
三等賞	山根 勝 西原由希子 (広島工業大学環境学部環境デザイン学科4年)
三等賞	近藤全範 高尾健治 葛島伸一 児玉 司 (広島工業大学工学部建設工学科福田研究室)
佳作	丹藤昌彦 (福山大学工学部建築学科4年生)
佳作	稲井智士 城間真琴 (近畿大学工学部建築学科)

play/pause

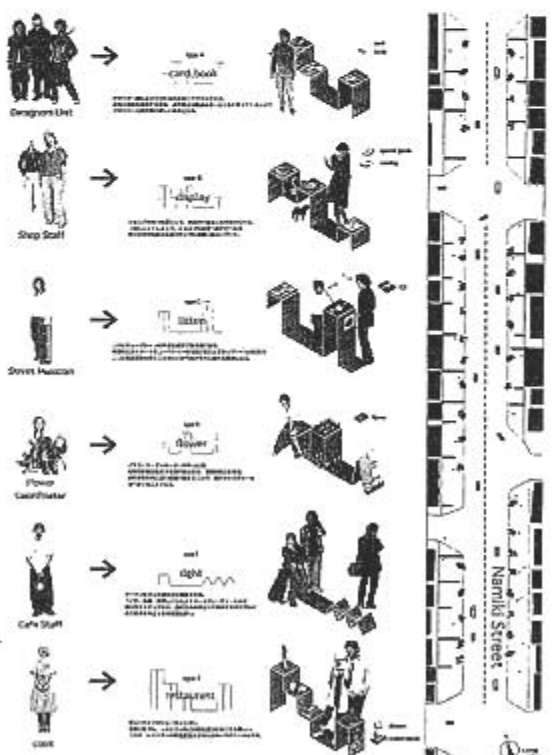
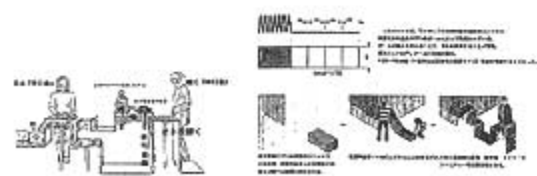


一等賞 山野嘉彦 Kenny Boid 重政隆志
(近畿大学大学院工学技術研究科建築学専攻)

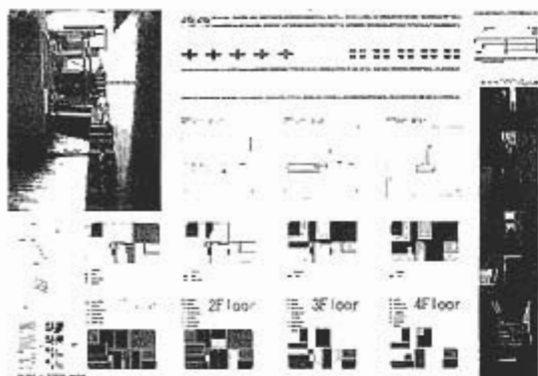


Medium of City

この街は、歴史的な文脈の中で、新しい生活様式を生み出すためのプラットフォームとして機能する。建物の間には、人々が集まり、交流する空間が設けられている。また、公共空間と私有空間の境界を曖昧にし、コミュニティの形成を促進している。



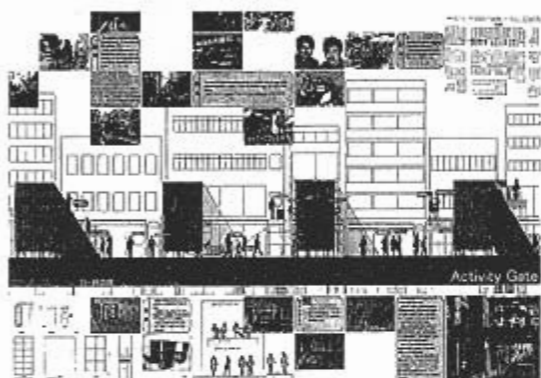
二等賞 岡本暁彦 貞重沙美 佐本 健 高端梨香 米司晴恵
(呉工業高等専門学校建築学科 富田研究室)



三等賞 内田芳広
 (広島工業大学環境学部環境デザイン学科佐藤洋研究室)



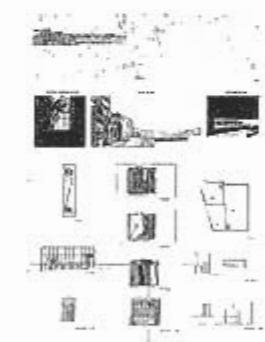
三等賞 ストリートファイターズ!!
 花本大作 横田健司
 (広島工業大学大学院)



三等賞 山根 勝 西原由希子
 (広島工業大学環境学部環境デザイン学科4年)



三等賞 近藤全範 高尾健治 葛島伸一
 児玉 司
 (広島工業大学工学部建設工学科福田研究室)



佳作 丹藤昌彦
 (福山大学工学部建築学科4回生)



佳作 稲井智士 城間真琴
 (近畿大学工学部建築学科)

かつて、まちの生活や文化は様々な形で、道空間で展開されていたように思います。今、それらは専門の施設や情報網に汲みとられ、道は、そのような場ではなくなりつつあるように思われます。

今回のコンペは、最も公共性の高い道空間を再び生活・文化の場とする提案を考えることによって、もう一度、公共・生活・文化等について再考してみようというものです。

従って、審査にあたっては、道空間での生活や文化を対象にしたもの、更に、提案の実現が、人々の行動に新たな変化を呼び起こすであろうと思われる作品が選択されました。

1等山野他案と2等岡本他案は、共に、道と街を結びつける具体的提案で、道を文化的刺激の場とする内容は今回のテーマにふさわしい作品であったと思います。岡本他案は新しいストリートファニチャーによって、街の若者達が文化的刺激を受ける様子がリアリティをもって、伝わってきました。山野他案は、街と道に文化的刺激を埋め込んでいくシステムの具体的な提案でファニチャー以上に、可能性の印を感じさせるものでした。ユーモアに富み、センスのある表現もすばらしく、他を圧して1等となりました。

3等の近藤他案、花本他案は道の使い方向けのソフトの提案、山根他案と内田案は新たな道のハード面での提案でした。近藤他案は夜の道をストリートスポーツの場に転換してみようという提案で、道空間の具体的な提案よりは、ストリートスポーツのルール等に具体的な提案が満ちており、ここまで提案されると、単なる思いつきを越えたものになっていたと思います。花本他案は道を落書きボードとみなしたとき、様々な展開される楽しい行為がきれいなプレゼンテーションで表現されています。ともにハード面での具体性には欠けるが、道のもつ可能性への熱い期待が込められた作品でした。

山根他案はストリートミュージシャン等ストリートカルチャーのための場を提供する案、内田案は街の狭間を立体的に移動できる新たな道を設け、街と道のつながりを複雑にみ込む提案でした。対象的を絞った提案として、その具体性を評価しました。

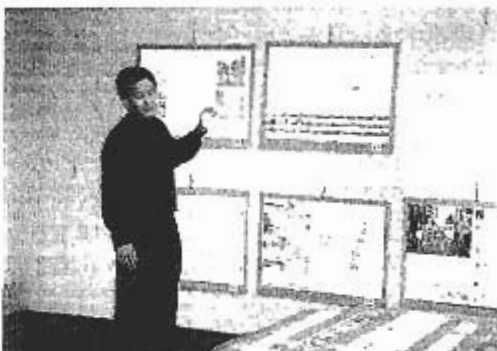
佳作の丹藤案は、尾道の散策コースの特定の場所にそれぞれにふさわしいレストハウスの計画を行い、散策の風景、印象を更に強く意識づけようとした計画と思われます。

同じく佳作の植井他案は、現在の街と道を真白に塗りつぶすことによって、いったん現

在の生活・文化の意味をはぎ取り、新たに追加される生活・文化を浮かび上がらせることによって、街と文化の在り方を再考しようという提案と解釈しました。共に今回のテーマに添ったものかどうか、作者の意図が私の解釈の通りであったかどうか不明ながら、狭い切り口から全体を見ようとする指向性、抽象的な思考から、具体性をつくりあげていくという考え方に魅かれて、佳作としました。

他にも様々な、真剣に取り組んだ作品、表現力の十二分な作品も数多くありましたが、もう一つ具体性に欠けるもの、いま一つ本質に踏み込んだ説得力を感じない作品は、次なる挑戦に期待して、敗れて落選とさせて頂きました。

広島という小都市で、自主的に展開されるこのようなコンペが29年も続き、各大学から66もの作品が応募される現実に接して、これからの可能性に大いに刺激され、私にとっても有意義な審査になりました。



広島工業大学 建築・環境系教職員名簿

〔建設工学科 建築工学コース〕

氏名	住	所	郵便番号	電話番号
佐藤 立 美				
高松 隆 夫				
宮崎 祐 助				
浅野 照 雄				
岩井 哲 子				
福田 由美子				
大林 真				

〔環境学部 環境デザイン学科〕

菅原 辰 幸				
田頭 良 子				
水田 一 征				
篠原 道 正				
森保 洋 之				
神田 隆 至				
野添 久 視				
竹野 節 夫				
村上 徹 昭				
田中 充 洋				
佐藤 加 繻				
西川 川 一				
廣川 田 良				
清田 越 義 昭				
手黒 岩 俊 介				
三村 好 孝 治				
三好 田 圭 子				
Donald・Fawcett				

平成14年度「五三会」活動報告

幹事長 平田 欽也 (S60年卒)

●平成14年度「五三会」の活動の流れ

- 「五三会」総会・懇親会
平成14年4月20日
・前年度の活動報告や決算の報告
・次年度の計画案・予算案や役員改選など
- 幹事会
・役員及び事業委員が各事業の遂行について話し合う
平成14年度は7回の幹事会を開催
場所：鶴学園広島校舎
- 交流事業部会
・新入会員歓迎会・学生との交流会の開催
平成14年6月22日
場所：鶴学園広島校舎
・「五三会」ゴルフコンペの開催
平成14年10月8日
場所：吉和の森ゴルフクラブ
・忘年会の開催
平成14年12月7日
場所：やぐら茶屋
- デザイン活動推進事業部会
・「五三会」建築見学会
平成14年9月28日
場所：広島市立矢野南小学校
・「五三会」建築設計競技の開催
公開審査会・表賞式・座談会
平成15年1月19日
場所：広島市まちづくり市民交流プラザ
- 広報事業部会
・会報誌「五三会」第30号の編集、発行
- 広報担当
・会報誌「五三会」のに掲載いただく広報依頼者との調整窓口
- 「五三会」名簿管理担当
・「五三会」正会員名簿の更新及び管理
・会報誌の送付
- 顕彰制度認定事業委員会
・五三会栄誉賞の認定
・五三会学生大賞の認定
卒業年次における環境デザイン学科・土木（建設工学科学生のうち、その年度において卒業設計が優秀と認められた学生の表賞を卒業式の後に行う。

●平成14年度の主な活動を紹介します。

1) 第29回 五三会建築設計競技
五三会建築設計競技では、現在、26回から30回までの5年間のメインテーマを「広島へのふれ合いの場を考える」と定め、広島での「公共の場」の魅力的なあり方について創造し、皆で広島の都市デザインの可能性について考えてゆくコンペを開催しております。今年度はその4回目にあたり、広島でご活躍の建築家 宮森洋一郎氏に審査をお願い致しました。応募総数は66作品で過去最大の出展がありま

した。審査会場にも70名を超える参加者が訪れ、公開審査の後に行われた座談会では、実務で広島の都市デザインに携わっておられる方々とコンペに参加した学生と活発に意見交換を行いました。

2) 「五三会」ホームページ

「五三会」ホームページは一昨年より、手越先生にご尽力をいただきまして、試験的に開設することができました。しかし、ホームページの掲載内容や更新についてのサポート体制が十分に整っていないため、情報がうまく伝わらず、会員の皆様にはご迷惑をおかけしております。平成15年度中には新しい体制を整えてゆく予定にしておりますので、今しばらくお待ち下さい。

3) 環境デザイン学科 学生会

昨年度より学生会の活動が再開されたことで、「五三会」の行事にたくさんのお学生が参加していただきました。世代を超えた交流はよい意味で刺激となり、「五三会」の活動にも活気がでてまいりました。今後もお互い協力し合い、大いに交流をすすめていきたいと思います。

4) 「五三会」創立35周年を前にして

平成16年度で「五三会」は創立35周年を迎えることとなります。そろそろ創立35周年記念パーティーを企画したらどうかという声が多く寄せられ、その前年にあたる今年より、開催にむけて準備を始めたいと思います。多くの世代の卒業生に参加いただけるように、各年代の会員の方にお声をかけさせていただき、実行委員会組織を立ち上げることになりました。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

平成15年5月 第1回実行委員会の開催

平成16年5月 創立35周年パーティーの開催

●平成14年度役員

- (会 長) 梶山 孝之 (昭和49年卒)
- (副 会 長) 松田 智仁 (昭和55年卒)
- 落合 木堂 (昭和56年卒)
- (会 計) 田中 義登 (昭和63年卒)
- 木下 和夫 (昭和63年卒)
- (会計監査) 松本 孝志 (昭和52年卒)
- 神垣 聡志 (昭和61年卒)
- (書 記) 奥野 功貴 (平成4年卒)
- 小瀧 宏治 (平成6年卒)
- (幹 事 長) 平田 欽也 (昭和60年卒)
- (副幹事長) 三島 久範 (昭和60年卒)
- (顧問) 山野 正晴 (昭和54年卒)

【五三会事務局】

〒731-5193

広島市佐伯区三宅2丁目1-1

広島工業大学環境学部環境デザイン学科

菅原研究室内 TEL.082-921-3121

五三会収支決算報告

平成14年度収支決算報告

(平成15年3月1日現在)

◆収入の部			(単位 円)
繰越	金		5,825,974
新会	員		655,390
広告	料		290,000
利息	取	入	34
合	計		6,771,398
◆支出の部			(単位 円)
会議	費		24,000
パ	イ	ト	95,750
名簿	作成	消耗	8,153
印刷	機	関	17,850
金融	機	関	140
雑	費		13,580
広	報		0
会	報	誌	236,250
会	報	誌	121,230
会	報	誌	0
設	計	競	330,104
企	画	活	2,562
新	入	会	62,674
学	生	大	11,062
予	繰	越	0
合	計		5,848,043
合	計		6,771,398

平成15年度収支予算 (案)

◆収入の部			(単位 円)
繰越	金		5,848,043
新会	員		800,000
広告	料		270,000
合	計		6,918,043
◆支出の部			(単位 円)
会議	費		70,000
パ	イ	ト	90,000
名簿	作成	消耗	10,000
印刷	機	関	40,000
金融	機	関	1,000
雑	費		10,000
広	報		550,000
会	報	誌	250,000
会	報	誌	150,000
広	報	取	50,000
設	計	競	320,000
企	画	活	50,000
新	入	会	100,000
学	生	大	30,000
予	繰	越	100,000
合	計		5,097,043
合	計		6,918,043

※決算期の都合により、本年度から会報誌印刷費を次年度にて負担する。

建築学科記念事業基金収支決算報告

平成14年度収支決算報告

(平成15年3月1日現在)

◆収入の部			(単位 円)
繰越	金		1,482,276
利息	取	入	46
合	計		1,482,322
◆支出の部			(単位 円)
雑	費		0
在	学	生	47,463
在	学	生	0
繰	越	金	1,434,859
合	計		1,482,322

平成15年度収支予算 (案)

◆収入の部			(単位 円)
繰越	金		1,434,859
合	計		1,434,859
◆支出の部			(単位 円)
雑	費		10,000
在	学	生	100,000
在	学	生	150,000
記	念	事	160,000
繰	越	金	1,014,859
合	計		1,434,859

広島工業大学建築・環境系同窓会 「五三会」会則

第一章 総 則

- 第 1 条 本会は広島工業大学工学部建築学科・同土木工学科建築工学コース・環境学部環境デザイン学科(以下、「建築・環境系」と称す)同窓会「五三会」と称する。
- 第 2 条 本会は、本部を広島工業大学内に置く。但し、総会で必要と認めた場合に支部を置くことを得る。
- 第 3 条 本会は会員相互の交誼を厚くし、かつ母校の建築・環境系学科の発展に貢献することを目的とする。
- 第 4 条 本会は前述の目的達成の為に下記の事業を行なう。
- (1) 集 会
 - (2) 会員相互の連絡並びに共助に関する事
 - (3) 会誌及び会員名簿の発刊
 - (4) 母校に対する精神的、物質的援助
 - (5) 会員の功績に対する顕彰
 - (6) その他本会の目的達成に必要な事

第二章 会 員

- 第 5 条 本会は下記の者を以て組織する。
- (1) 正 会 員 広島工業大学建築・環境系卒業生(大学院を含む)のうち会費を納入した者
 - (2) 準 会 員 正会員以外の広島工業大学建築・環境系卒業生
広島工業大学建築・環境系在學生(大学院生を含む)
 - (3) 特別会員 母校建築・環境系教職員及び旧教職員
 - (4) 名誉会員 本会の発展に貢献し、名誉会員としてふさわしいと総会で認められたもの

第三章 役 員

- 第 6 条 本会は下記の役員を置く。
- | | |
|-------------------|--------------|
| (1) 名誉会長 置くことができる | (2) 会 長 1名 |
| (3) 副 会 長 2名 | (4) 会 計 2名 |
| (5) 会計監査 2名 | (6) 幹 事 長 1名 |
| (7) 幹 事 若干名 | (8) 書 記 2名 |
- 第 7 条 本会の役員は次の方法で決める。
- (1) 名誉会長は総会をもって推す
 - (2) 会長・副会長・幹事長・会計・会計監査・書記は総会で正会員の中から選ぶ
 - (3) 幹事は総会の決議により正会員の中から委嘱する

- 第 8 条 各役員はそれぞれ求の任務を持つ。
- (1) 会 長 本会を代表し会務を総括する
 - (2) 副 会 長 会長を助け支障がある場合は代理する
 - (3) 会 計 会計事務に当たる
 - (4) 会計監査 会計を監査する
 - (5) 幹 事 長 会務を主宰する
 - (7) 書 記 書記事務に当たる

第 9 条 役員任期は一ケ年とし再任をさまたげない。但し欠員は役員会にはかり補充し、これによって就任した者の前任者の残りの期間とする。

第四章 顧 問

- 第 10 条 この会に顧問は若干名をおく。
- (1) 顧問は総会の決議により適任者を委嘱する
 - (2) 顧問は会の諮問に応じる

第五章 会 議

- 第 11 条 会議を分けて定期総会、臨時総会、役員会及び事業委員会とする。
- 第 12 条 総会は最高の議決機関で毎年 1 回開く。臨時総会は役員会が必要と認めた時、会長が召集する。
- 第 13 条 総会は次のことを決める。
- (1) 会則の変更と改正
 - (2) 決算及び予算
 - (3) 事業委員会の組織
 - (4) その他緊急事項の協議
- 第 14 条 役員会は会長が認めた時召集し、次のことを決める。
- (1) 総会に附議する原案
 - (2) この会の運営に関する諸事項
 - (3) 事業委員会の組織
 - (4) その他緊急事項の協議
- 第 15 条 事業委員会は必要に応じて役員により組織し、第 4 条に掲げる事業についてその事務を処する。
- 第 16 条 会議の議決は出席者の過半数をもって決定し、賛否同数の時は議長がこれを決定する。

第六章 会 計

- 第 17 条 この会の経費は会費、寄付金及びその他の収入をあてる。
正会員は終身会費として、入会時に10,000円を納入しなければならない。
- 第 18 条 この会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第七章 委 任 事 項

- 第 19 条 この会則に定めのあるもののほか、必要な事項は役員会においてこれを定める。

付 則

本会則は、平成 8 年度から施行する。
旧会則で正会員であったものは、本会則における正会員に移行する。

編集後記

会報誌発行にあたり御寄稿下さった方々、スポンサーの皆様に御礼申し上げます。

また、いつも五三会会報誌発行にあたり御支援頂きまして有難うございます。

今回で、五三会会報誌第30号を迎えることとなりました。長い歴史を感じるのと、会報誌編集に携わって来られた諸先輩方の御苦勞が身にしみるほど感じます。

これからも、少しでも長く会報誌発行が続いていくようにがんばって参りますので御支援、御協力の程宜しく御願ひ致します。

「五三会」第30号編集委員

三好 征一 (H9)

(連絡先)

五三会事務局

広島市佐伯区三宅二丁目1番1号

広島工業大学環境学部環境デザイン学科

菅原研究室内

(〒731-5143) 082-921-3121 (代)

広島工業大学建築・環境系同窓会会誌

「五三会」 第30号

編集責任者 三 好 征 一

発行責任者 梶 山 孝 之

企画・製作 株式会社 エヌ・ティ・ティ・クオリス

発 行 平成15年3月